

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0190501304		
法人名	株式会社オストジャパングループ		
事業所名	グループホームいきいき(ハマナス)		
所在地	北海道札幌市白石区北郷9条3丁目3番1号		
自己評価作成日	平成29年9月12日	評価結果市町村受理日	平成29年12月1日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者様がどのように暮らしていきたいかを大事にし、特に外出支援に力を入れている。入居者様、さらにその御家族様からも「外出したい・させて欲しい」という希望が多いので個々に合わせた外出支援を実行している。個々に合わせ、ドライブや買物、食事やおやつ外出、さらに御家族の方を交えて動物園に行ったりしている。入居者様によっては、体調的に車に乗っての外出が難しい方もいるので、近くの公園まで花見に行ったり、庭先に出て季節を感じて頂けるようにしている。又、外食に行けない方もいるので、皆様に何が食べたいかのリクエストを取り、1カ月に1度くらいのペースで実行している。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action_kouhyou_detail_2016_02_2_kani=true&JigvoSyvoCd=0190501304-00&PrefCd=01&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉サービス評価機構Kネット
所在地	札幌市中央区南6条西11丁目1284番地4 高砂サニーハイツ401
訪問調査日	平成29年10月19日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「グループホームいきいき」は最寄りのバス停から7分程にあり、鉄筋コンクリート造り3階建て3ユニットで、付近は中学校や住宅が立地している。玄関先には「ありがとう」の文字が表記された木彫りの置物が訪れる人を出迎えている。隣接の保育園とは運営推進会議への出席、事業所祭日には駐車場の提供、園児達との交流、非常時避難場所として協力を得ている。事業所祭日には町内会のテントの借り受け、多数の地域の方のボランティアとして手伝いや多くの参加を頂くなど、継続しての支援を得ている。全員での外出は困難だが、家族の協力を得ながら個別外出やドライブ等で気分転換を図っている。行動を共に出来ない利用者には別の企画を立てるなど、職員は、利用者には心地良く暮らして欲しいとコミュニケーションを取り、要望に沿える支援に取り組んでいる。家族には、利用者の行動と言葉を記した「○○さんの暮らしの日記」を取り1か月分を送付し、安心感に繋げ、共に支え合う関係を構築している。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目)		※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します					
項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「地域に根ざした安心した暮らし」という文言をホーム理念に加え、音読する等して実践に努めている。	地域との関係性を踏まえたホーム理念・ケア理念は、系列のグループホームと共有し、さらに、職員は理念を具体化したホーム目的を作り上げ、ケアの指針としている。高齢化に伴い利用者全員で地域と関わることは困難になっている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	事業所での避難訓練に参加して頂いている。又、新聞を発行し行事のお知らせを地域にしている。	町内会の行事に参加し、季刊誌を回覧するなど、事業所への理解に繋げている。回覧板で事業所祭りを地域に周知し、多くの手伝いや見物人が来訪している。ボランティアや園児、中学生との交流は、利用者の生活意欲になっている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議を通して町内会の方に参加して頂いているが、認知症の理解や支援方法を伝えるまでには至っていない。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	状況報告や課題を話し合うなど討議を行っている。又、避難訓練等を通して実際の状況をみてもらい、話し合い意見を頂き向上に取り組んでいる。	町内会関係者、包括職員、事業所関係者の出席の下、定期的で開催している。活動報告等に加え、メンバーに避難訓練の見学や配食業者の食事を味見して頂き、得られた意見や情報を運営やケアに活かしている。	家族の出席が得られず課題となっているが、会議の活性化や家族の要望把握に繋がる取り組みとして、参加しやすい日時設定や議題の工夫等の検討を期待する。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	必要な時に連絡は取り、協力関係を築くよう努めている。	行政への各種報告時や相談ごとは、郵送やFAX、Eメール、電話で行い、現状に対して助言や指導を受け、質の向上に努めている。介護認定時は、区の担当窓口を訪れている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束をしないケアについて勉強会を開催し、さらに自分のユニットで都度拘束についての見直しを行っている。	身体拘束に当たる具体的行為とその弊害について勉強会等で理解に繋げ、拘束や虐待をしないケアに取り組んでいる。管理者やリーダーは職員に声かけをし、ストレス軽減を図っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることのないよう注意を払い、防止に努めている	虐待についての勉強会を開催し、マニュアルを基に理解を深めている。又、ユニットでも各スタッフを意識し、虐待が見逃されることがないように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	制度を改めて学ぶ機会は無かったが、個々の状態に応じて関係者と話し合いを行った。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居契約前には重要事項等について説明し、その場で疑問がある場合はお話を伺うなどして、ご理解いただけるように努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者やその家族からの意見・要望がある時は上司・スタッフに相談報告して、要望に答えられるように努めた。	関わりの中から利用者や家族の要望を確認し、解決に向けて協議している。家族には、生活の様子を面会時や毎月の笑顔満載の写真付きユニット便りと「暮らしの日記」を送付して伝えている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ユニットカンファで報連相をするように心掛けていた。	本部関係者は都度事業所を訪れ、管理者と現状を共有している。職員は、新聞作成など各業務を担い得意分野を発揮している。人員の補充に向けて検討が行われている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	働き方について個々の考え方・捉え方の違いがある中、各自の意見を聴く機会を設けて、向上心を持って働けるように、努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内研修に参加させていただいている。研修で学んだことを業務に活かせるように努めた。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者は定期的に連絡会などに参加しているが、職員向けの同業者との交流を目的とした会が少なく、外部研修への参加も少なめであった。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人と積極的にコミュニケーションをとることによって、良い関係を作れるように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	細かな事も報告、相談し、より良い関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人・そのご家族と話しをして、今どのような支援が必要か意思確認をしている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一方的に介護を行うのではなく、本人に現状をお話して、介助に協力していただけるようにしている。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人の様子を伝えて、家族はどのような支援を望むのか等話を行っている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	外出する時は馴染みの場所にお連れするなど支援をしている。	家族や友人、知人の来訪を歓迎し、寛げるよう配慮している。家族の協力も得て動物園、美容室、入居前の居住地訪問、墓参りなどの外出支援を行うなど、馴染みの関係性を尊重している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係を把握した上で、孤立する利用者がいないように職員が介入している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約が終了しても、必要に応じて支援できるように努めている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人が昔好きだった事や、得意だった事等の情報を基に支援している。又、情報収集が困難な場合でも何気ない会話からも把握できるように努めている。	職員は、利用者が望む物は何なのかを常に模索しながらコミュニケーションを取り、外出したい、好きな物を食べたいなどの要望に応えられる環境作りに努めている。内容によっては、ケアプランに反映している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族から情報を頂きながら、個人のフェイスシートを作り、職員全員が把握出来る様に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の記録やカンファレンスで現状を把握し、職員間で情報を共有しながら、把握するように努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人・ご家族から要望・意見を聴いた上で介護計画を作成している。他スタッフや管理者からも意見をもらっている。	ケアプラン作成時は、事前に利用者や家族の意向を確認し、医療関係者の意見や積み重ねた情報を基に適切な内容になる様協議している。個別の記録にはケアプランのチェック欄があり、実践が確認できる。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子や実践内容等は、ケース記録に記入し、スタッフが必ず目を通すようにしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族や本人の要望があった時には、添えるように努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	避難訓練には地域の方にも参加して頂き、地域の訓練にも管理者が参加している。毎月ボランティアにも来て頂き協力して頂いている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	毎週決まった曜日に往診で診てもらっている。又、外来受診が必要な時には都度報告し必要に応じ受診している。	殆どの利用者は定期的に協力医(内科、歯科)の訪問診療を受けており、常時相談できる態勢にある。従来のかかりつけ医や専門医への受診は家族対応だが、困難な場合は職員が同行し情報を共有している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護事業所の訪問を受けており、報告・指示を受け対応している。往診時の看護師にも利用者の状態等を詳しく伝えている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入居者が入院した際は、病院・ご家族と情報交換し、治療医方針やその後の経過について適切に対応できるよう努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	終末期の利用者は主治医・ご家族との面談で十分に話し合い、より良い対応に努めている。	入居時に重度化や終末期における対応方針を利用者や家族に説明している。重篤時には家族に意向を確認し、医療関係者と連携を取り、尊厳ある終末ケアに臨んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	AEDの準備をしておき、スタッフは救命講習を受け、不測の事態に対応できるように努めている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	各災害に対応出来るように、避難訓練を実施し、いざという時に備えている。	消防署の指導を得て、日中・夜間想定避難訓練を行っている。近くに川があり、水害を想定して1階の利用者を2階に誘導する訓練を実施している。ポータブルストーブなど災害時備蓄品は随時用意している。	避難訓練時は地域の方に参加を依頼し、避難後の利用者の見守り支援の要請と、家族には再度、火災や自然災害時のそれぞれの避難場所の周知、加えて事業所独自の災害備蓄品の充実に期待したい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	その都度声かけをして、その方に寄り添った支援を心掛けている。	職員は、笑顔での言葉かけや入浴時では羞恥心に配慮するなど、利用者が心地良く過ごせるよう一人ひとりに沿った支援に努めている。個人関連の記録時や保管も適切に行われている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者の気持ちが汲み取れるような支援・声掛けを心掛けている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その時の状況によっては実施出来ない事もあるが、出来るだけご本人の希望に沿った支援が出来る様に努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	季節やその日の天候、御本人の要望を汲み取り、出来るだけ希望に沿える支援を心掛けている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員と一緒に準備や片づけを行ったり、見守りの中出来る様に支援している。	食事は業者から届いている。利用者の要望や職員の企画により、寿司の出前を取ったり、オードブルや鍋物、たこ焼き、誕生日には個別の夕食、外出先でお土産を買って皆で食すなど、楽しみごとに繋げている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分や食事の摂取量を記録し、個々に合わせた必要量が摂取出来るように努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	道具を使い分けて一人ひとり必要に応じた口腔ケアを実施している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	自力での排泄が困難な方でもポータブルトイレを使用していただくなど、出来るだけトイレでの排泄が出来る様に支援している。	排泄チェック表は、利用者の健康状態を知る手がかりになっている。自力でトイレを使用する利用者もいるが、トイレでの排泄を基本とする職員は排泄のサインをキャッチし、一人ひとりに沿った支援に努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	個々に合わせ、飲水に乳製品を取り入れたりしている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴の拒否がある方でも気持ちよく入浴できるように、声掛け等を工夫し支援している。	毎月入浴できるが、日中に週2回を目途に入浴支援を行っている。利用者の要望や状態により、足湯をしながらシャワーに代えて浴槽のお湯をかけ続けたり、複数介助で浴槽で温まってもらえるよう努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	睡眠状況を考慮しながら支援しており、必要に応じて声掛けをするなどして、睡眠時間の確保に努めている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の説明欄を読み、理解するように努めている。わからないことは医師や薬剤師にその都度相談している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	食器洗いや、そうじ洗濯等の役割を持って頂けるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	大掛かりな外出は前もって計画し、連携して実施している。ご家族にも連絡し、時間が合えば参加して頂いている。それ以外でも日頃からドライブや買物にお誘いしている。	家族の協力を得ながら散歩など個別の外出支援や近所の桜見物、ドライブを兼ねて海の家に立ち寄りたり、外出先でおやつタイム、玄関前の移動美容室まで足を運ぶなど、外気に触れる機会を作っている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自分で金銭管理している人はいないが、若干小銭を所持されている方には、そうすることで安心してもらえるように支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	毎年年賀状を送る際、ご本人にも署名して頂き、ご家族からの手紙を居室に飾ったりしている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有の空間については快適に過ごして頂けるよう清潔に努め、四季の移り変わりも感じて頂けるように飾り付けしている。	居間の大きな窓からは遠くには手稲山、近くの手には色づいた落ち葉が見えるなど四季の移ろいを感じられる。温湿度や清掃も適切で台所と一体化した食堂や広々としたソファコーナー、小上がりがあり、閉塞感の無い生活環境になっている。壁面には、行事での写真や季節の飾り物が掲示されている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングにソファを置き、自分の好きな場所で過ごしていただけるようにしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	御家族の写真や馴染みあるものを居室に飾り、いつでも見えるように工夫している。	クローゼットが設置されており、生活用品の収納が容易で整理整頓に活かされている。利用者や家族の望む家具や趣味の物、仏壇などが置かれるなど、安心感ある居室造りを支援している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	個々の「できること」「わかること」を把握するよう努めてはいるが、全ては把握できていない。もっとアセスメントが必要。工夫できる範囲で動線の確保など配慮している。		